

公文類集第六十九編

昭和二十年

卷十四

官職門八
官制八
陸軍省
第一復員省

國立公文書館	
分類	
配架番号	2 A
	13
	2898

國庫二十萬兩合庫三百八十八萬

漕庫二十萬兩合庫五百三十三萬

鹽庫十八萬兩合庫四百二十一萬

酒庫十萬兩合庫一百二十萬

國庫十七萬兩合庫三萬八十八萬

鹽庫十六萬兩合庫一千百二十萬

酒庫十九萬兩合庫一百九十八萬

國庫十五萬兩合庫一千九十九萬

鹽庫十四萬兩合庫一千九十九萬

酒庫十二萬兩合庫三十一萬

國庫十一萬兩合庫一千三十一萬

鹽庫九萬兩合庫一萬三千一百

酒庫八萬兩合庫一萬三千一百

國庫七萬兩合庫一萬三千一百

鹽庫六萬兩合庫一萬三千一百

酒庫五萬兩合庫一萬三千一百

國庫四萬兩合庫一萬三千一百

鹽庫三萬兩合庫一萬三千一百

酒庫二萬兩合庫一萬三千一百

國庫一萬兩合庫一萬三千一百

鹽庫五千兩合庫一萬三千一百

酒庫三千兩合庫一萬三千一百

國庫二千兩合庫一萬三千一百

鹽庫一千兩合庫一萬三千一百

酒庫八百兩合庫一萬三千一百

國庫六百兩合庫一萬三千一百

鹽庫四百兩合庫一萬三千一百

酒庫三百兩合庫一萬三千一百

國庫二百兩合庫一萬三千一百

鹽庫一百兩合庫一萬三千一百

一第一復員省官制
一第一復員官及第二復員官，任用

等ニ關スル件

右樞密院、御諮詢ヲ經テ御下付ニ付
同院上奏ノ通裁可ヲ奏請セラレ可然
ト認ム

上諭案

朕樞密顧問、諮詢ヲ經テ第一復
員省官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布
セシム

御名御璽

年 月 日

内閣總理大臣
陸軍大臣

(樞密院上奏ノ通)

朕樞密顧問、諮詢ヲ經テ第一復員官
及第二復員官ノ任用等ニ關スル件ヲ
裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和三十一年十一月三十日

内閣總理大臣
陸軍大臣
海軍大臣

(樞密院上奏ノ通)

第一復員省官制

第一復員官及第二復員官ノ任用等ニ關
スル件

臣等右二件諮詢ノ命ヲ恪ミ本月二十七日
ヲ以テ審議ヲ盡シ之ヲ可決セリ乃チ謹テ

上奏シ更ニ

聖明ノ採擇ヲ仰ク

昭和二十年十一月二十七日

樞密院議長男爵臣 平沼騏一郎

勅令第六百七十五號

第一復員省官制

第一條　臨時ニ第一復員省ヲ置キ本令ニ定ムルモノノ外各省官制通則

ヲ適用ス

第二條　第一復員大臣ハ陸軍大臣ノ所掌シタル事項ニシテ復員及之ニ

關聯スル事項ニ關スルモノヲ掌ル

第三條　大臣官房ニ於テハ通則ニ従クルモノノ外左ノ事務ヲ掌ル

一　史實調査ニ關スル事項

二　在外陸軍部隊ノ實情調査ニ關スル事項

三　終戦連絡ニ關スル事項ニシテ他ノ所掌ニ屬セザルモノ

一 様 二 様

四 織譯ニ關スル事項

五 醫務ニ關スル事項

六 他ノ所掌ニ屬セザル事項

大臣官房中其ノ事務ヲ分掌スル爲第一復員大臣ノ定ムル所ニ依リ部及課ヲ置ク
及課ヲ置クコトヲ得

第四條 第一復員省ニ左ノ四局ヲ置ク

總務局

經理局

業務局

法務局

局中局務ヲ分掌スル爲第一復員大臣ノ定ムル所ニ依リ部及課ヲ置ク
コトヲ得

第五條 總務局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 所管行政ノ綜合調整ニ關スル事項

二 部外交涉一般ニ關スル事項

三 軍需工業及軍需品（他ノ所掌ノモノヲ除ク）ノ整理ニ關スル事

項

第六條 業務局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 人事ニ關スル事項

二 復員實施一般ニ關スル事項

三 運輸及通信ニ關スル事項

第七條 經理局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 総算、決算、資金、契約及給與ニ關スル事項

二 會計ノ監査ニ關スル事項

三 衣糧、需品及營繕ニ關スル事項

四 國有財產ニ關スル事項

第八條 法務局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 司法及刑務ニ關スル事項

二 規律ノ維持ニ關スル事項

第九條 各局長ハ勤任ノ、各部長ハ勤任又ハ奏任ノ、總務官ハ奏任ノ

第一復員官ノ中ヨリ之ヲ補ス

第十條 第一復員書記官ハ專任一人ヲ以テ定員トス

第十一條 第一復員局ハ專任九十二人ヲ以テ定員トス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

左ニ掲タル勅令ハ之ヲ廢止ス

陸軍省官制

昭和十六年勅令第九十二號

昭和十六年勅令第八百九十八號

他ノ法令中陸軍大臣、陸軍省及陸軍部内ニ關スル規定ハ第一復員大臣

第一復員省又ハ第一復員部内ニ關スル規定トス但シ第一復員大臣ノ特

二指定スルモノハ此ノ限ニ在ラズ

勅令第六百八十九號

第一條 第一復員官ハ陸軍敎授、陸軍通譯官、陸軍司政長官、陸軍司政官又ハ陸軍軍政地敎授、第二復員官ハ海軍敎授、海軍通譯官、海軍司政長官又ハ海軍司政官、第一復員官補ハ陸軍助敎、陸軍通譯生又ハ陸軍督部、第二復員官補ハ海軍助敎、海軍通譯又ハ海軍督部ノ中ヨリ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得

第二條 陸海軍武官内地ノ陸海軍武官ノ職ニ充用セラレ（陸海軍武官ノ職ニ充用中ノ陸海軍ノ佐士官、練備准士官又ハ下士官ヨリ陸軍將校又ハ海軍ノ士官、特務士官若ハ練備士官ニ任ゼラルル場合ヲ含ム）又ハ之ヲ免除セラレタルトキハ別ニ辭令ヲ用フルトナク陸軍將校

ハ第一復員官ニ、海軍ノ士官、特務士官及豫備士官ハ第二復員官ニ。

陸軍ノ准士官及下士官ハ第一復員官補ニ、海軍ノ准士官、豫備准士官、下士官及豫備下士官ハ第二復員官補ニ任せラレ又ハ之ヲ免ゼラレタルモノトス但シ第一復員大臣又ハ第二復員大臣ノ特ニ指定スル

者ハ此ノ限ニ在ラズ

第三條 第一復員及第二復員部内ノ文官ニ對シテハ陸海軍文官ニ關ス

ル規定ヲ適用ス

前項ノ規定ノ適用ニ關シ必要ナル事項ハ第一復員大臣又ハ第二復員

大臣之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス